

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	小泉山体験の森 整備事業
事業主体 (連絡先)	小泉山体験の森創造委員会 事務局 (茅野市教育委員会 生涯学習課) 茅野市塚原二丁目6番1号 0266-72-2101 (内線634)
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ハード
総事業費	1,698,408円 (うち支援金: 1,132,000円)

事業内容

小泉山体験の森創造委員会では、小泉山周辺の地域住民や学校関係者、行政とが協働で小泉山の整備・活用に取り組んでいる。今後も継続して、地域の子どもたちが自然体験学習をしたり、親子や地域のふれあいの場、憩いの場としての活用してもらえるよう、できるだけ多くの地域住民や子どもたちに小泉山や活動内容を知ってもらう機会を作る。

- ・10月10日 二本松由来看板設置 10名参加
- ・10月18日～30日 駐車場、案内看板設置 8名参加
- ・11月16日 中沢口登山道整備 5名参加
- ・11月23日 栗沢口駐車場、案内看板設置 20名参加



【看板設置作業の様子】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①「看板がきれいになって見やすくなった」という声が聞かれた。中沢口からは毎年保育園児が利用するため、水切り工事により今後は歩きやすくなるが見込める。
- ②創造委員以外の地域住民に整備に参加してもらい、小泉山に興味を持ってもらうことができた。保育園児や小学生にも参加してもらえた。
- ③公民館の行事として、小泉山登山を行った区が3区あった。オオムラサキの保護活動や観察に協力する学校が1校増加した。小泉山を登山で活用する保育園が2園増加した。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

小泉山で体験したことが子どもたちの心に残るよう、引き続き小泉山の整備や様々な活動、イベントを主催していきたい。来年度以降も、地域住民、学校関係者や行政と協働し、整備活動やオオムラサキの保護活動など継続して行っていく。

- 【目標・ねらい】
- ①きれいな登山道、見やすい看板の設置
 - ②地域住民や子どもたちに参加してもらい、啓発の機会とする
 - ③活用してもらう機会を増やす

※自己評価 【 B 】

【理由】
予定していた整備も終了し好評を得たが、植物観察会が雨で中止になったり、栗沢口看板の作業日の朝まで雨が降っていたことで子どもたちに参加してもらう機会が減ってしまった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある